

## 最近の機械貿易動向(5月)～機械輸出は減少幅縮小も12.8%の大幅減続く～

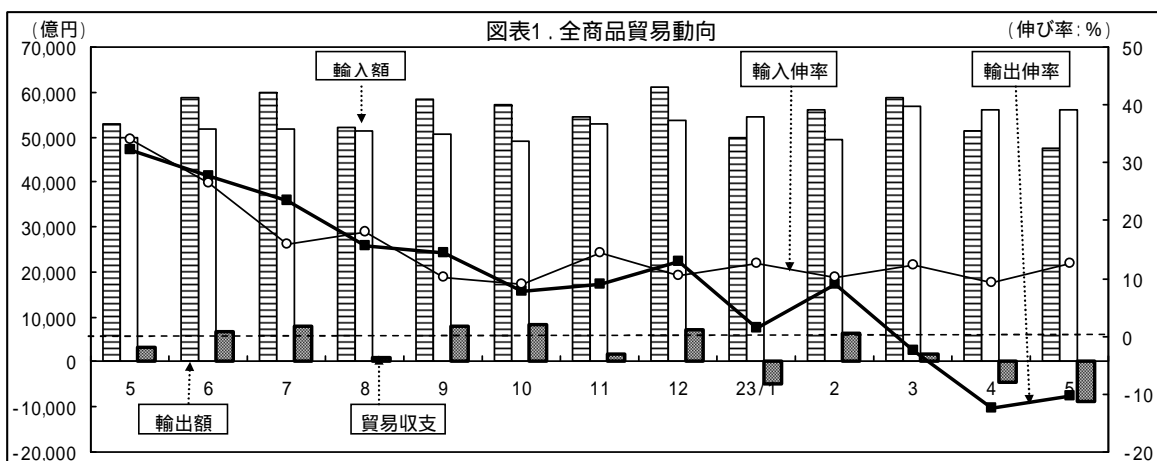
日本機械輸出組合 2011.7.4.

平成23年5月の機械輸出額は、2兆9,398億円、対前年同月比12.8%減と震災の影響が依然続くがマイナス幅を縮小した。これは、北米、EU、韓国・台湾、その他地域向けがマイナス幅を縮小させたこと、機械輸出の23%を占めている自動車が前月の48%減から32%減とマイナスを縮小させたこと、5月の営業日が1日多かったこと(5.5%増加)などが要因である。

6月の対ドルレートは月間最高値を更新したが、対ユーロでは円安となり5.3%の円建減少要因となる。このため、実質伸び率を5月の11.8%減と仮定すると、6月の機械輸出の伸び率は17%の大幅な減少が予想されるが、震災からの生産復興が進めば、落込み幅は減少する。因みに6月上旬の全商品輸出額は1.3%減であった。

### 1. 全商品貿易動向～輸出はマイナス幅減少、貿易収支は2ヶ月連続で大幅増～

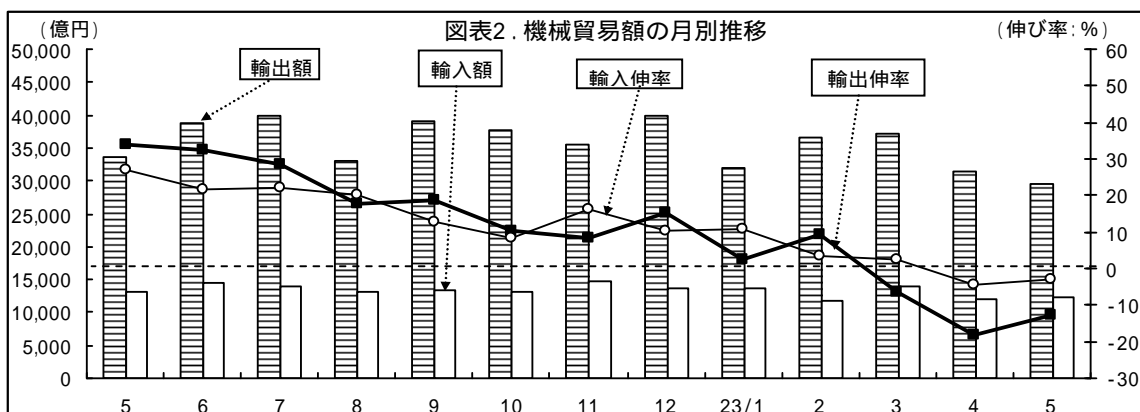
- 平成23年5月の全商品輸出額は4兆7,600億円、前年同月比(以下同じ)10.4%減と3ヶ月連続のマイナスとなった(4月12.4%減)。これは、全輸出額の17%を占める輸送用機器(26.6%減)、18%の電気機器(16.5%減)などが大幅に減少したためである。
- 輸入額は5兆6,158億円、12.6%増となった(4月9.2%増)。これは、全輸入額の31%を占める原油等鉱物性燃料(25.2%増)、10%の鉄鋼等原料別製品(22.5%増)、10%の化学製品(14.3%増)、8%の原料品(11.6%増)が二桁の大幅な伸びとなったためである。
- この結果、輸出がマイナス、輸入が大幅増となったため、5月の貿易赤字は8,558億円とさらに拡大し、リーマンショック後の平成21年1月の9,569億円に次ぐ過去2番目の大きな赤字幅となった。



### 2. 機械貿易動向

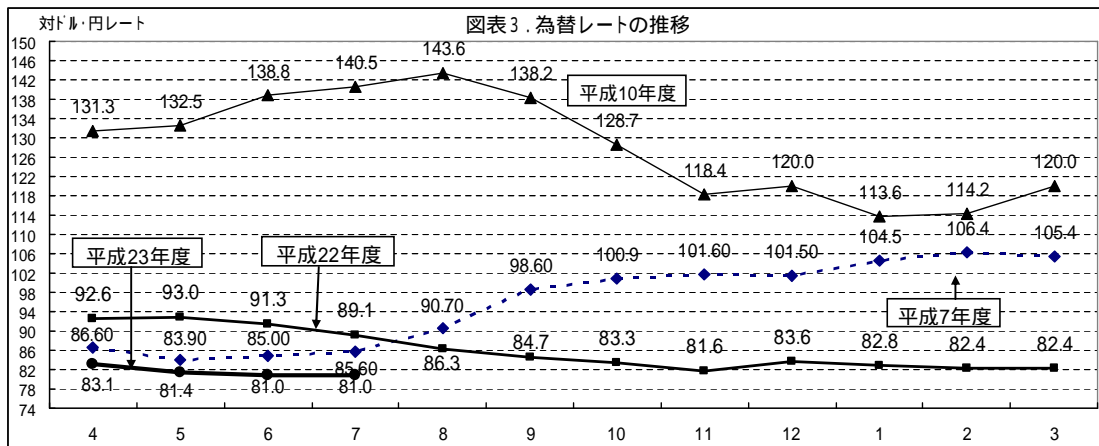
#### (1) 機械輸出入動向～機械輸出、機械輸入ともマイナス幅を縮小～

- 全商品輸出額の62%を占める5月の機械輸出額は2兆9,398億円、12.8%減とマイナス幅を縮小させた(4月18.3%減)。この輸出額は、リーマンショック前の平成20年5月の65%にまで縮小した(4月67%)。一方、全商品輸入額の23%を占める機械輸入額は、1兆2,734億円、2.8%減と2ヶ月連続のマイナスとなった(4月4.3%減)。この輸入額はリーマンショック以前の80.7%で、前月(79.8%)よりやや上昇した。



(2) 為替動向・営業日～5月は営業日多く僅かな減少、6月は5.3%の減少要因～

- ・5月は1ドル = 81.5円と月間最高値となり前年比12.4%の大幅な円高が続き、対ユーロ = 117.8円では円高が緩み2.9%の円高となり、合わせて6.5%減の為替減少要因となる。一方、営業日は前年より1日多いので5.5%の増加要因となり、円建輸出額では1%の僅かな減少要因となった。このため、5月の機械輸出は12.8%減であったが、**実質伸び率は11.8%減**と前月よりさらに落ち込んでいる(4月7.7%減)。
- ・6月は1ドル = 81円と月間最高値を更新し前年比11.3%の大幅な円高が続き、一方、対ユーロ = 115.9円では3.6%の円安に転換し、合わせて5.3%減の為替減少要因となる。一方、営業日は前年と同じである。
- ・7月は、対ドルが現状の81円とすれば9.1%の大幅な円高が続くが、対ユーロが現状の117円とすれば5.2%の円安となり、合わせると4%減の為替減少要因となる。しかし**営業日が前年より1日少ない**ので、**4.8%の減少要因**となり、合わせて**8.8%の大幅な円建減少要因**となる。



(3) 地域別動向～2ヶ月連続で全地域向けがマイナス、中国も2ヶ月連続でマイナス～

・機械輸出がマイナスとなった地域的要因は、機械輸出額の18%を占める北米向けが、輸出額の37%を占める自動車(44.1%減)が大幅減となった他、電子計算機、民生用電子機械等がマイナスとなり、減少幅は縮まったが**17.1%減**の大幅減となった。次に29%と最大輸出地域のNIES/ASEAN向けは香港、インドネシア、フィリピン、台湾、ベトナムなど軒並み二桁のマイナスとなり、業種で、自動車、民生用電子部品が大幅に減少し、**15.3%減**と5ヶ月連続のマイナスとなった。21%を占めるその他地域向けは、中近東、大洋州が大幅な減少となり、機種では、全体の37%を占める自動車(33.7%減)や民生用電子機械、船舶等が大幅減となったため、**12.3%減**となった。13.3%を占めるEU向けは、全体の26%を占める自動車(24.2%減)や民生用電子機械(20.3%減)、電子計算機(22.0%減)等が大きく減少し、**9.5%減**となった。19%を占める中国向けは、全体の15%を占める電子デバイス(14.7%減)、10%の自動車(33.6%減)、軽電気機械、民生用電子機械、建設機械、重電気機械等がマイナスとなり**7.2%減**と2ヶ月連続でマイナスとなった。

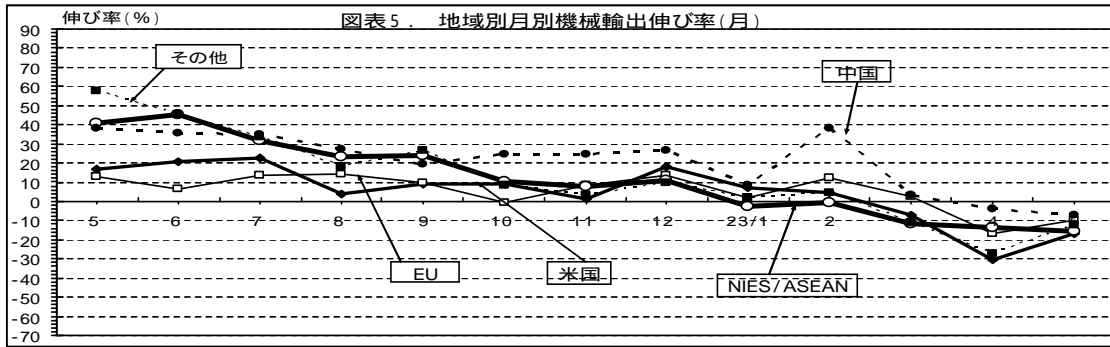
地域別に、リーマンショック以前の平成20年5月の輸出額と比較すると、唯一、水準を超えていた中国向け(90%)も下回り、北米、EU向けは半減に近い水準である。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2011/3			2011/4			2011/5			対08年5月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	37,295	6.3	100	31,310	18.3	100	29,398	12.8	100	0.65
北米	6,725	6.9	18.0	5,120	30.3	16.4	5,183	17.1	17.6	0.55
EU	4,905	2.6	13.2	4,007	17.0	12.8	3,918	9.5	13.3	0.53
NIES/ASEAN	10,308	11.9	27.6	9,772	13.7	31.2	8,560	15.3	29.1	0.73
中国	7,479	3.4	20.1	6,660	4.2	21.3	5,665	7.2	19.3	0.90
その他	7,877	11.2	21.1	5,751	27.1	18.4	6,071	12.3	20.7	0.60

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。



図表6. NIES/ASEAN・その他地域向け機械輸出の推移(月別) (金額単位: 億円)

国名	2011/2		2011/3		2011/4		2011/5	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	1,705	10.7	1,949	13.7	1,849	13.1	1,662	0.9
台湾	1,813	1.1	1,942	13.1	1,792	18.1	1,628	17.0
香港	1,458	3.8	1,759	10.2	1,569	15.6	1,337	27.1
タイ	1,548	11.5	1,571	8.9	1,533	2.2	1,248	10.2
シンガポール	823	18.9	924	27.9	934	16.8	770	10.4
インドネシア	683	1.1	635	25.1	648	17.3	571	26.4
マレーシア	783	11.3	786	3.2	712	15.4	662	11.9
フィリピン	420	10.1	423	17.4	415	26.5	416	24.2
ベトナム	260	5.7	281	9.7	284	3.2	223	17.0
<b>その他地域</b>								
中南米	2,051	22.5	2,799	13.4	2,349	8.3	2,426	7.8
中近東	1,461	0.9	1,342	33.1	647	52.8	798	35.0
大洋州	1,143	1.9	944	15.5	649	57.5	816	29.4
ロシア東欧等	1,358	80.0	1,152	14.6	858	12.7	968	3.3
アフリカ	797	14.7	832	15.0	640	27.3	607	1.2
インド	436	28.6	639	59.1	448	11.9	410	16.2

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4) 業種別動向 ~ 19 業種中 12 業種がマイナス、自動車の下落が機械輸出の減少に大きく影響 ~

- ・業種別では、全 19 業種中マイナスとなったのが 12 業種で、前月より 1 業種減少した。
- ・全体の 23% を占め機械輸出を下支えする自動車は前月の大幅な減少から 31.7% 減とマイナス幅をやや縮小させたものの、機械輸出の減少に大きな影響を与えた。その他、電子計算機、民生用電子機械、通信機械、電子デバイス、農業機械も大幅に減少した。
- ・一方、工作機械(42.3%増、14ヶ月連続)、繊維機械(16.2%増、19ヶ月連続)、ベアリング(13.2%増、16ヶ月連続)は二桁の高い伸びを維持している。
- ・この結果、リーマンショック以前の輸出額を超えているのは船舶、医療機械、ベアリングの 3 業種で、光学機械、陸用内燃機関は 90% 台であるが、電子計算機、通信機械、自動車、民生用電子機械、産業車両は 40 ~ 50% 台である。

図表7 上位19業種の輸出額の動き

(単位: 億円, %)

機種名	2011/3			2011/4			2011/5			対08/5比		
	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額		伸び率	シェア
自動車	9,784	20.2	26.2	自動車	6,296	47.9	20.1	自動車	6,844	31.7	23.3	0.45
産業機械	7,390	6.9	19.8	産業機械	7,006	2.8	22.4	産業機械	6,345	4.7	21.6	0.88
電子デバイス	3,346	6.9	9.0	電子デバイス	2,941	19.2	9.4	電子デバイス	2,748	18.6	9.3	0.68
船舶	2,627	9.2	7.0	船舶	2,100	7.4	6.7	船舶	1,829	1.3	6.2	1.27
軽電気機械	2,057	4.2	5.5	軽電気機械	2,006	4.9	6.4	軽電気機械	1,676	14.2	5.7	0.72
民生用電子機械	1,756	15.2	4.7	民生用電子機械	1,580	27.4	5.0	民生用電子機械	1,513	23.3	5.1	0.48
重電気機械	1,893	3.6	5.1	重電気機械	1,845	3.3	5.9	重電気機械	1,513	11.6	5.1	0.73
軽機械	1,299	9.2	3.5	軽機械	1,242	0.7	4.0	軽機械	1,006	7.5	3.4	0.60
光学機械	1,265	4.3	3.4	光学機械	1,236	3.4	3.9	光学機械	1,197	3.7	4.1	0.95
建設機械	1,203	6.7	3.2	建設機械	929	5.2	3.0	建設機械	997	17.5	3.4	0.65
工作機械	928	48.4	2.5	工作機械	741	54.5	2.4	工作機械	671	42.3	2.3	0.81
通信機械	461	17.4	1.2	通信機械	448	19.7	1.4	通信機械	406	20.7	1.4	0.44
電子計算機	489	27.2	1.3	電子計算機	394	35.7	1.3	電子計算機	384	28.7	1.3	0.43
ベアリング	424	18.8	1.1	ベアリング	418	16.7	1.3	ベアリング	359	13.2	1.2	1.06
陸用内燃機関	434	20.5	1.2	陸用内燃機関	310	9.0	1.0	陸用内燃機関	339	11.8	1.2	0.91
医療機械	361	2.0	1.0	医療機械	287	3.5	0.9	医療機械	268	2.3	0.9	1.09
繊維機械	276	37.6	0.7	繊維機械	253	44.6	0.8	繊維機械	206	16.2	0.7	0.83
農業機械	142	29.4	0.4	農業機械	135	23.3	0.4	農業機械	126	18.2	0.4	0.63
産業車両	138	6.8	0.4	産業車両	103	7.1	0.3	産業車両	109	6.2	0.4	0.51
19業種合計	36,273		97.3	19業種合計	30,270		96.7	19業種合計	28,536		97.1	0.64

は2ヶ月以上連続で10%以上増加、民生用電子機械: デジカメ、TV、部品、電子計算機: ハソコ、HDD、プリンタ等部品、軽電気機械: 白物家電、電子計測器、軽機械: 分析器、光学機械: 光学材料、カメラ。

(5) 機種別動向～工作機械、繊維機械、ロボット等は好調、乗用車は3ヶ月連続大幅減～

・伸び率上位機種は、北米、中国、EU等向け**工作機械(42.3%増)**、その他地域、北米、EU等向け**建設機械(17.5%増)**、中国、韓国・台湾、その他地域向け等**半導体製造装置(16.7%増)**、中国、韓国・台湾、ASEAN向け**繊維機械(16.2%増)**、中国、ASEAN、韓国・台湾向け等**発電機(16.2%増)**、中国、北米、韓国・台湾向け等**産業用ロボット(14.4%増)**、EU、韓国・台湾、北米向け等**ペアリング(13.2%増)**、北米、EU、中国向け等**陸用内燃機関(11.8%増)**、その他地域、EU、北米向け等**風水力機械(11.0%増)**、その他地域、韓国・台湾、中国向け等**時計(11.0%増)**などである。一方、最も落込み幅が大きいのが、乗用車(41.2%減)、デジカメ(30.2%減)電子計算機(28.7%減)、録画・再生機器(23.5%減)、磁気カード・ディスク(21.2%減)、農業機械(18.8%減)、エアコン(18.8%減)、電子デバイス(18.8%減)などであった。

図表8. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内) (単位:億円)

2011/3			2011/4			2011/5		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
工作機械	928	48.4	工作機械	741	54.5	工作機械	671	42.3
産業用ロボット	106	39.0	産業用ロボット	97	53.4	建設機械	997	17.5
繊維機械	276	37.6	繊維機械	253	44.6	半導体製造装置	1,517	16.7
陸用内燃機関	434	20.5	TV	93	21.3	繊維機械	206	16.2
ペアリング	424	18.8	バルブ・コック	396	18.8	発電機	89	16.2
バルブ・コック	374	17.3	ペアリング	418	16.7	産業用ロボット	79	14.4
半導体等製造装置	1,594	13.5				ペアリング	359	13.2
						陸用内燃機関	339	11.8
						風水力機械	692	11.0
						時計	82	11.0
機種合計	4,136	11.1%	機種合計	1,998	6.4%	機種合計	5,031	17.1%

は、2ヶ月連続で上位機種・機種合計の%は輸出額に占める割合

図表9. マイナス伸び率上位機種(月3億円以上、10%減以上、10機種以内) (単位:億円)

2011/3			2011/4			2011/5		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
農業機械	142	29.4	乗用車	2,151	67.9	乗用車	3,334	41.2
録画・再生機器	13	28.9	録画・再生機器	7	59.9	デジカメ	467	30.2
乗用車	5,198	27.3	デジカメ	359	54.0	電子計算機	384	28.7
電子計算機	489	27.2	電子計算機	394	35.7	録画・再生機器	14	23.5
デジカメ	560	23.2	ラジオ	9	29.7	磁気カード・ディスク	146	21.2
ラジオ	11	13.2	農業機械	135	23.3	農業機械	126	18.8
機種合計	6,413	17.2%	機種合計	3,055	9.8%	エアコン	10	18.8
						電子デバイス	2,748	18.6
						電池(乾・蓄電池)	306	15.4
						電気・電子計測器	327	10.5
						機種合計	7,862	26.7%

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内

\*機種合計の%は機械輸出額に対する割合

(6) 機械輸入動向～電子デバイス、航空機、民生用電子部品が大幅減～

・5月の機械輸入額は2.8%減と2ヶ月連続のマイナスとなった。その要因は、二大輸入機種の一つ電子デバイス(22.6%減)がマイナス幅を拡大させたこと、航空機、民生用電子部品、自動車部品が大幅減になったことによる。一方、携帯電話(16.9%増)、白物家電(14.5%増)は高い伸びが続き、重電気機械(26.8%増)も急増した。なお、TV輸入の伸び率は4月から減少している。

なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は、電子計算機、携帯電話、TV、白物家電、エアコン、医療機器、録画・再生機器、時計、発電機、ラジオとなっている。

・地域別機械輸入額は、中国(3.7%増)、北米(2.6%減)、ASEAN(12.9%減)、EU(4.5%増)、韓国・台湾(14.7%減)の順となっている。

図表10. 機械輸入額上位12機種 (単位:億円、%)

2011/3				2011/4				2011/5			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子計算機	1,770	7.3	12.8	電子計算機	1,563	10.0	12.9	電子計算機	1,582	4.5	12.4
電子デバイス	1,425	19.9	10.3	電子デバイス	1,338	21.1	11.0	電子デバイス	1,445	22.6	11.3
重電気機械	642	4.8	4.6	重電気機械	592	5.3	4.9	重電気機械	782	26.8	6.1
乗用車	620	32.4	4.5	乗用車	546	34.8	4.5	白物家電	607	14.5	4.8
TV	601	42.8	4.3	白物家電	521	10.5	4.3	乗用車	477	2.3	3.7
自動車部品	598	2.1	4.3	自動車部品	513	14.4	4.2	自動車部品	432	28.8	3.4
携帯電話	592	125.1	4.3	医療機器	395	2.2	3.3	携帯電話	430	16.9	3.4
医療機器	540	9.3	3.9	TV	380	1.7	3.1	医療機器	409	9.6	3.2
白物家電	492	23.0	3.6	携帯電話	346	21.1	2.9	TV	409	11.8	3.2
光学機械	358	7.1	2.6	光学機械	299	2.5	2.5	光学機械	318	10.6	2.5
民生用電子部品	305	16.2	2.2	民生用電子部品	268	24.0	2.2	民生用電子部品	252	34.2	2.0
航空機	93	52.6	0.7	航空機	255	15.9	2.1	航空機	147	55.8	1.2
12機種合計	7,943		57.3	12機種合計	7,016		57.8	12機種合計	7,290		57.2

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。白物家電:民生用電気機械